

47都道府県プロフィール  
2024年1月～2024年06月

# 長崎県

# 長崎・五島市 3年ぶりに「社会増」 雇用創出、 外国人増が要因か 2023年

2023/01/11

長崎県五島市は、2023年の転入者が転出者を25人上回り、20年以來3年ぶりに「社会増」になったと明らかにした。市は国境離島新法による雇用の創出や、外国人の増加が要因とみており、今後詳しく分析する。 市政策企画課によると、転入者は1348人（前年比5人増）、転出者は1323人（同41人減）。市の移住支援施策などを利用したU・Iターン者は過去最多の270人で、年代別では30代までが6割を占めていた。3年前に比べ60代以上の割合も増えている。 同法の雇用機会拡充事業は、島内事業者の事業拡大や創業を支援しており、同課は「雇用の受け皿となっている」と説明。近年、五島が各種メディアで取り上げられる機会も増えており、こうしたことも移住増につながっているとみている。



goo ニュース

長崎県五島市、2023年は3年ぶりに「社会増...

<https://www.nagasaki-np.co.jp/kijis/?kijiid=1117628081351115272>

# 宿泊業界で外国人の雇用を 派遣会社とマッチング 長崎県庁でイベント 人材

2024/01/20

人手不足が著しい宿泊業界に外国人労働者を積極的に取り込もうと、長崎県内の宿泊事業者と全国の人材派遣会社を引き合わせるイベントが18日、県庁であった。県旅館ホテル生活衛生同業組合によると、宿泊業界は新型コロナウイルス禍で離職や採用制限の動きが広がった。ようやく観光需要が回復したにもかかわらず、人材不足で十分なサービスを提供できない施設も少なくない。制度の理解不足で外国人採用に踏み切れないという声も聞かれるという。



外国人雇用について説明する人材派遣会社担当者（左側）＝県庁

<https://www.nagasaki-np.co.jp/kijis/?kijiid=1121268351289442373>

# 働く外国人が日本語スピーチ 諫早で初のコンテスト 「変だと思っ 日本」を流ちょうに指摘

2024/06/24

長崎県諫早市高城町の高城会館で6日、日本で働く外国人による日本語スピーチコンテストがあり、インドネシア出身で夏吉睦福社会（福岡県田川市）で働く技能実習生、エニ・ヌル・ライリさん（21）が最高賞の金賞に輝いた。技能実習生や特定技能外国人の受け入れに取り組む管理団体、九州アジア産業支援協同組合（大村市、芦塚泰三代表理事）が組合員を対象に初めて開催。日本で働く外国人の日本語能力向上や、多文化共生の理解促進などが狙い。



<https://nordot.app/1174186597847057195>

# スリランカ出身の31歳、「おしん」見て来日

## 猛勉強し国家資格取得

2024/05/08

長崎県内の介護職種の技能実習生第1号

として2018年に来日したスリランカ出身のニマーリ・ワットサラさん（31）が今春、介護福祉士の国家資格を取得した。

長崎市古賀町の介護施設「ショートステイ王樹（えんじゅ）」で介護士として働くニマーリさんは「もっと仕事を頑張りたい」と意気込んでいる。



47都道府県プロフィール  
2024年07月～2024年12月

# 長崎県

# 「けんかで負傷者が出ている」社員寮で刺されて死亡したベトナム国籍の技能実習生…殺人容疑で同僚を逮捕

2024/12/09

長崎市西海町の産業廃棄物処理会社の社員寮で8日夕、ベトナム国籍の技能実習生の男性が刺されて死亡する事件があり、長崎県警時津署は9日、同僚でベトナム国籍の技能実習生の男（39）を殺人容疑で逮捕した。「刺したことは間違いありません」と容疑を認めているという。



# ベトナム人元実習生「盗んだ金は家族に」 借金100万円抱え来日

2024/08/28

国内で働く約40万人の技能実習生のうち、およそ半数を占めるベトナム人。実習生は建築や農業などの労働現場を支えるが、盗みなどで摘発されるケースが増えている。希望をもって来日したはずの若者たちは、なぜ犯罪に手を染めてしまうのか。空き家を狙って盗みを繰り返したとして、福岡県警は7月末、ベトナム国籍の男（32）＝福岡市東区、窃盗罪などで公判中＝を窃盗などの疑いで送検し、捜査を終結したと発表した



元技能実習生の男が暮らしていた地域の町並み。多くの集合住宅が立ち並ぶ＝2024年8月1日午後2時18分、福岡市東区、鳥尾祐太撮影 

<https://www.asahi.com/articles/ASS8W3QJCS8WTIPE00NM.html>

# 長与の森満工業 インドネシアで人材育成 現地の国立高専と提携、 雇用へ 長崎

2024/07/24

ステンレス配管の加工、溶接などを行う森満工業（西彼長与町）は、自社の高度な技術をインドネシアのマカッサル国立高専の学生に学んでもらい、卒業後に即戦力として同社に受け入れる仕組みづくりを進めている。現地で働きたい人を集める送り出し機関などは介さず、同校と直接提携。同校を管轄するインドネシア政府機関とも合意文書を交わした。

お墨付きを得て人材の育成と確保に乗り出し

た



合意文書を交わし手を組むインドネシア工業省のマスロカン長官（中央）、バスリ学長（右端）、満崎社長（右から2人目）ら関係者＝長与町岡郷

<https://www.nagasaki-np.co.jp/kijis/?kijiid=87c79edbe5c24a419698a5abf8978449>

# ミャンマーからの技能実習生

2024/07/05

島原市内の監理団体にて、毎月行っている技能実習生に対する法的保護講習の様子です。ミャンマーから来日し、これから、長崎県内の農家、福岡県内の食品製造会社でそれぞれ働きます。入管法や労働基準法など、難しい法律の話しも、ノートを取りながら一生懸命に勉強している姿が印象的でした。



# 伝統芸能にベトナム女性3人が挑戦中 広がる小さな国際交流 長崎・諫早

2024/10/13

18日に開かれる長崎県諫早市御手水町の御手水観音の大祭で奉納される同市西里町の伝統芸能に、3人のベトナム人女性が挑戦中だ。同町が今年の当番町として奉納する「浮立一式」に加わる。3人は地道に積み重ねてきた練習の成果を披露しようと張り切っている



本番直前の「人数揃い」で衣装を身に付け練習するスオンさん（前列左）ら

# 長崎県内宿泊施設における外国人人材インターンシップ 受入支援事業を再委託

2024/12/23

全国約4,600施設以上の観光施設に特化した人材サービス事業を展開する株式会社ダイブ（東京都新宿区、代表取締役社長：庄子潔、証券コード：151A、以下「ダイブ」）は、長崎県内の宿泊施設における外国人人材インターンシップ受け入れ支援事業を再委託されました。

本事業では、長崎県、長崎県旅館ホテル生活衛生同業組合、及び相手国（ネパール）の三者が、外国人人材インターンシップの受け入れに向けた連携・協力について2024年7月に合意しております。ダイブは本事業において、長崎県内の宿泊事業者に対する窓口業務を担い、外国人人材インターンシップ受け入れのサポートを行います。



# 外国人材「リレー」で協定 島原雲仙と北海道・知床の両JA 農繁期ごとと現地へ

2024/07/17

JA島原雲仙（島原市、苑田康治組合長）と北海道のJAしれとこ斜里（斜里町、平田隆雄組合長）は、農繁期ごとに外国人労働者を“リレー”し、労働力不足の解決につなげる連携協定を結んだ。両JAなどによると、「島原雲仙」は県内最大のニンジン産地で、県内収穫量の半分ほどの約1万6千トンを生産。「しれとこ斜里」も道内有数の産地で約1万トンを出荷している。いずれも、少子高齢化や過疎化に伴う担い手不足に悩んでいる。



特定技能外国人の「リレー派遣」に関する協定書を交わしたJA島原雲仙の苑田組合長（左）とJAしれとこ斜里の平田組合長＝9日、JA島原雲仙本店

## 諫早市の特定技能ワーカー（介護士）インタビュー【二ニヨさん】

2024/08/14

外国人技能実習生への人権侵害を防ごうと、出入国在留管理庁は1日、制度の運用要領を見直した。実習先から別の職場に移る「転籍」の要件に、パワハラやセクハラ、悪質な契約違反があった場合などと明記。これまでは「やむを得ない事情」があれば認めるとしていたが、内容が曖昧との指摘があり、該当するケースを明確化させた



# 「1箱50円」からブランドに 栗原ねぎ社長・栗原光博さん 味と安全こだわり評判 長崎・雲仙

2024/05/24

冬場は糖度19度、シャインマスカットより甘いという。土壌を改良し、農薬はほとんど使わない。うまみと香りの強い白ネギ「雲仙栗原ねぎ」を、外国人技能実習生や障害のある人、家族の16人で栽培する。雲仙栗原ねぎは、長崎県雲仙市が認定する「雲仙ブランド」や県特別栽培農産物をはじめ、安全性などに配慮した農業管理基準「JGAP」、障害者が生産に携わる「ノウフクJAS」など数々の認証を受けている。台湾、香港、シンガポールにも輸出している。



外国人技能実習生らと一緒に収穫した雲仙栗原ねぎを手にする栗原さん＝雲仙市瑞穂町

<https://nordot.app/1166579725713228255>

# 「リレー派遣」で人手確保 農繁期、外国人が全国移動

2024/05/20

農業の担い手不足解消に向け、外国人材を活用した「リレー派遣」が注目されている。地域や農作物の種類ごとに繁忙期が異なるのを利用し、数カ月ごとに全国各地を移動しながら、収穫作業などを手伝う仕組み。農家は繁忙期の人手確保が期待できるほか、年間を通じて仕事が発生するため、外国人にとっても技能習得や通年就業につながるメリットがある。



リレー派遣で想定する派遣先と農繁期の作物

# あいさつ教えてくれたコンビニ店長へ 「この景色見せたかった」

2024/01/18

この日、JR長崎駅前ではベトナム語が飛び交い、子どもからお年寄りまで、多くの人でにぎわっていた。久しぶりの再会を喜ぶ人や、思い出話に花を咲かせる人。ホアン・ティ・ミ・ハオさん（29）は人々の輪を見渡し、にっこりとほほえんだ。「こんな景色が見られて本当にうれしいです」今月7日、西口駅前広場で開かれたベトナムの旧正月を体験できる催し「在長崎ベトナム旧正月フェスティバル」。日本に住むベトナム人同士の交流の場をつくると共に、長崎の市民にもベトナムの文化を知ってもらおうと、在長崎ベトナム人協会が初めて企画した。



ベトナム料理「バインチュン」を作るベトナム人と日本人の参加者ら=2024年1月7日午後1時32分、長崎市尾上町、寺島笑花撮影 

<https://www.asahi.com/articles/ASS1L5TZJS19TOLB00F.html>